

はじめに

このページを開いてくださりありがとうございます！

これは高北の下に眠っている

同道遺跡についてまとめたものです。

この遺跡がどのようなものか、どうして高北の下にあるのか

ということを知っていただけたら嬉しいです！

それではどうぞ！！

同道遺跡って何？



群馬町井出字同道で発掘された**水田**と
中世の居館のことです。

特に水田跡は古墳時代から平安時代にか
けて使われたもので、その当時のこの地
域の水田開発や農耕技術、**災害復興**
の実態を知る上で重要なものです！



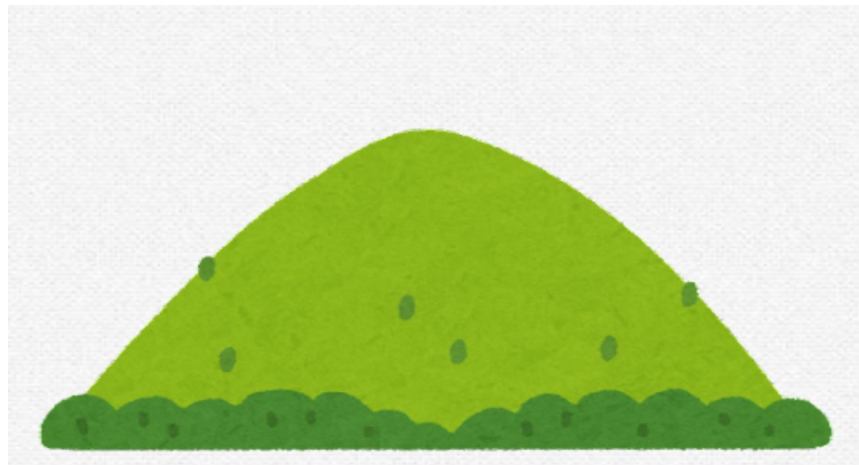
火山大国群馬県

群馬は火山が多い県で、大昔から
浅間山と榛名山が何回ともなく噴火を
繰り返してきました。

「同道遺跡と何の関係があるん？」

そう思われるかもしれませんが、

実はとっても重要なことなのです！



歴史のMEMORYを残す火山灰 そして古代人は...

榛名山と浅間山の度重なる噴火によって

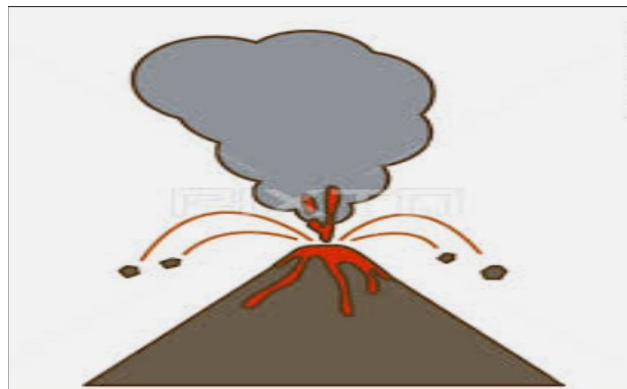
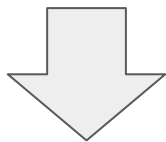
同道遺跡周辺の集落も大きな被害を受けました。

特に火山灰による影響が大きかったようです。

しかしその火山灰によってその当時の環境がそっくり
そのまま保存されたのです！【現に水田に当時の人
のものと思われる足跡が残っています！】

でも当時の人々にとっては死活問題です。

さてどうしたか.....



諦めない心はクニを発展させる力となる

なんと火山灰が降り積もるごとに災害に負けず水田を
復旧しようとした！しかも火山災害後に短期間で！！

この復興に対する努力でこの周辺は発展したのでは
ないでしょうか。周辺には保渡田古墳群や三ツ寺 I 遺跡
など歴史的に重要な発見があったものもあります。

ただの水田跡ではないのです！



どうして同道遺跡が見つかったの...？🤔

高北を建設する際、埋蔵文化財の埋蔵の有無の確認のため、**現地調査**が行われる



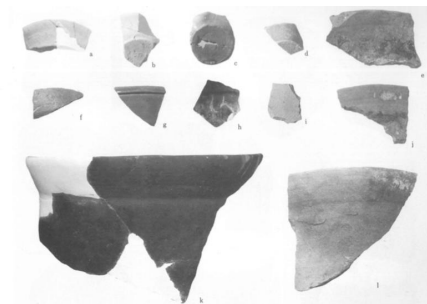
少量の土師器小片が見つかるが、隣接する集落遺跡からの**流失物**であるとされる



しかし、付近に古墳が隣接していることから、**試掘調査**の必要性が**強調**される



発掘！！



出典

高崎北高校十年史

群馬県埋蔵文化財調査事業団「同道遺跡」

同道遺跡が発掘されたことで高北は...

- ・校舎の配置が変わった
- ・校舎は建設中だったが開校した
- ・1期生の入学試験が群馬中央中で行われた
- ・グラウンドや体育館がなかった
- ・授業中に工事の音が響き渡った
- ・部活動をする場所がなかった
- ・生徒が植樹や平地造りを行った

出典 高崎北高校十年史



当初の校舎配置予定図



開校当初
は不便
だった
...!

当時の高北生は同道遺跡のことをどう思っていたの？ 🤔



生徒が勉学とクラブ活動にと青春を謳歌せんと充実した学校生活を送っていると思う。だが、同道遺跡が発掘されたことで、高校生活の花形である部活動ができなかったことが悔やまれる。今日の生徒が羨ましい。私が高校 3年間で思い出に残っていることは、管理作業 (植樹や平地造り) である。体育の残り時間やホームルームの時間、本来なら部活をやる時間を割いて作業を行った。樹木が揃ったり、グラウンドは体育や部活動で使えるほどになることで、学校らしさが徐々に見受けられるようになった。ただ残念なことに、正規の工事が進む中で、自分たちで作ったグラウンドが姿を消さなければならなくなった。何ヶ月もかけて造ったグラウンドは、ものの何日かで元の荒地に戻ってしまった。

出典 高崎北高校十年史

当時の生徒会長